

卒業研究報告書

五島の住民の保健・医療に対する 満足度とその関連因子に関する調査

平成23年度長崎大学医学部保健学科看護学専攻4年次生

藤田恭介

松尾由紀子

調査にご協力くださった皆様へ

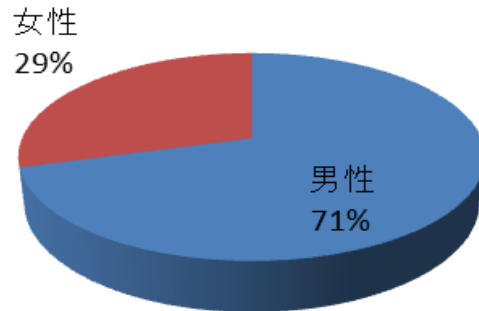
このたびは卒業研究のための調査票へのご回答
ありがとうございました。調査は2011年10月に行われ、
五島市及び新上五島町在住の、合計248名の方から
ご回答いただきました。

ここに調査の報告書をお送りいたします。

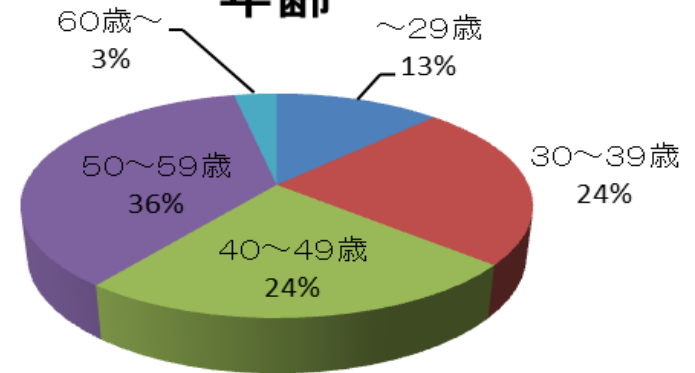
ご協力、ありがとうございました。

回答者の属性

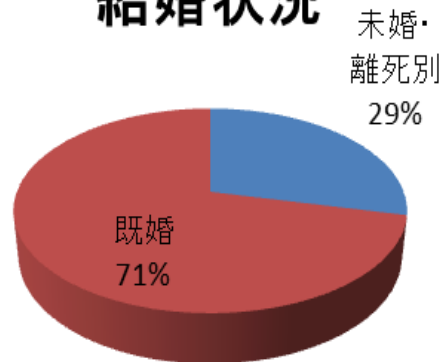
性別



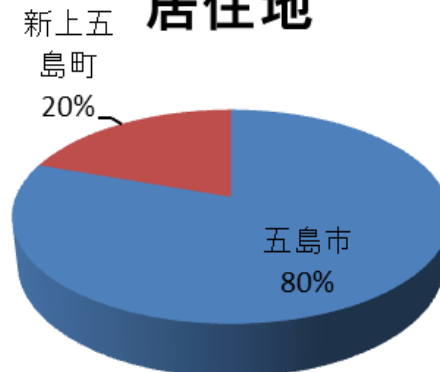
年齢



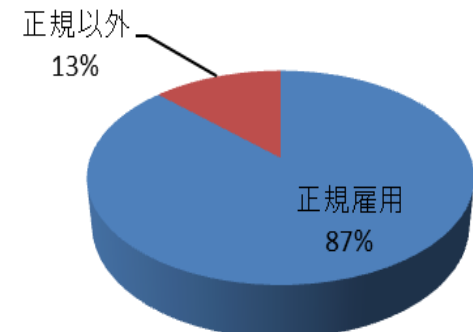
結婚状況



居住地

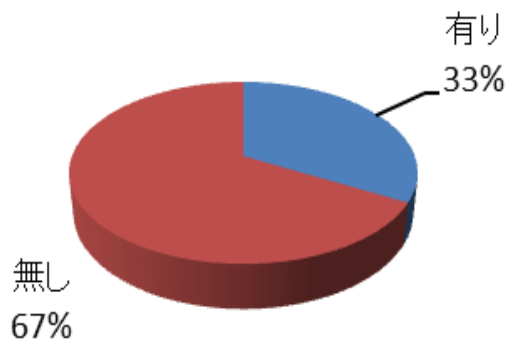


仕事形態

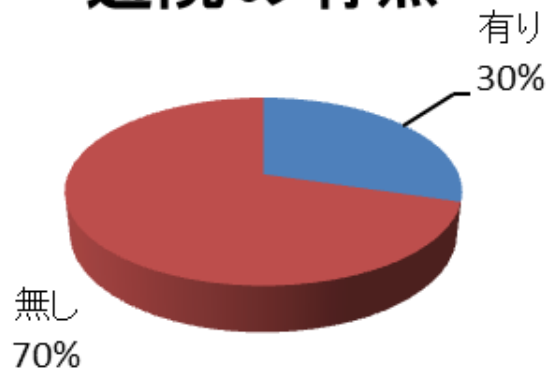


回答者の健康に関する状況

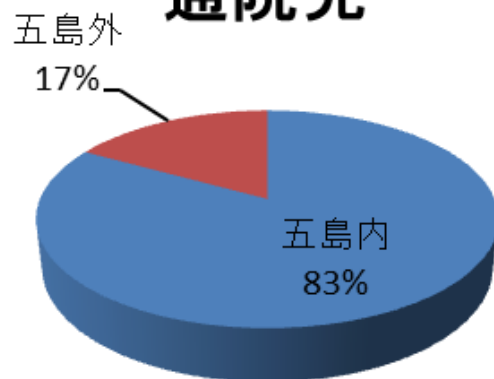
病気の有無



通院の有無



通院先



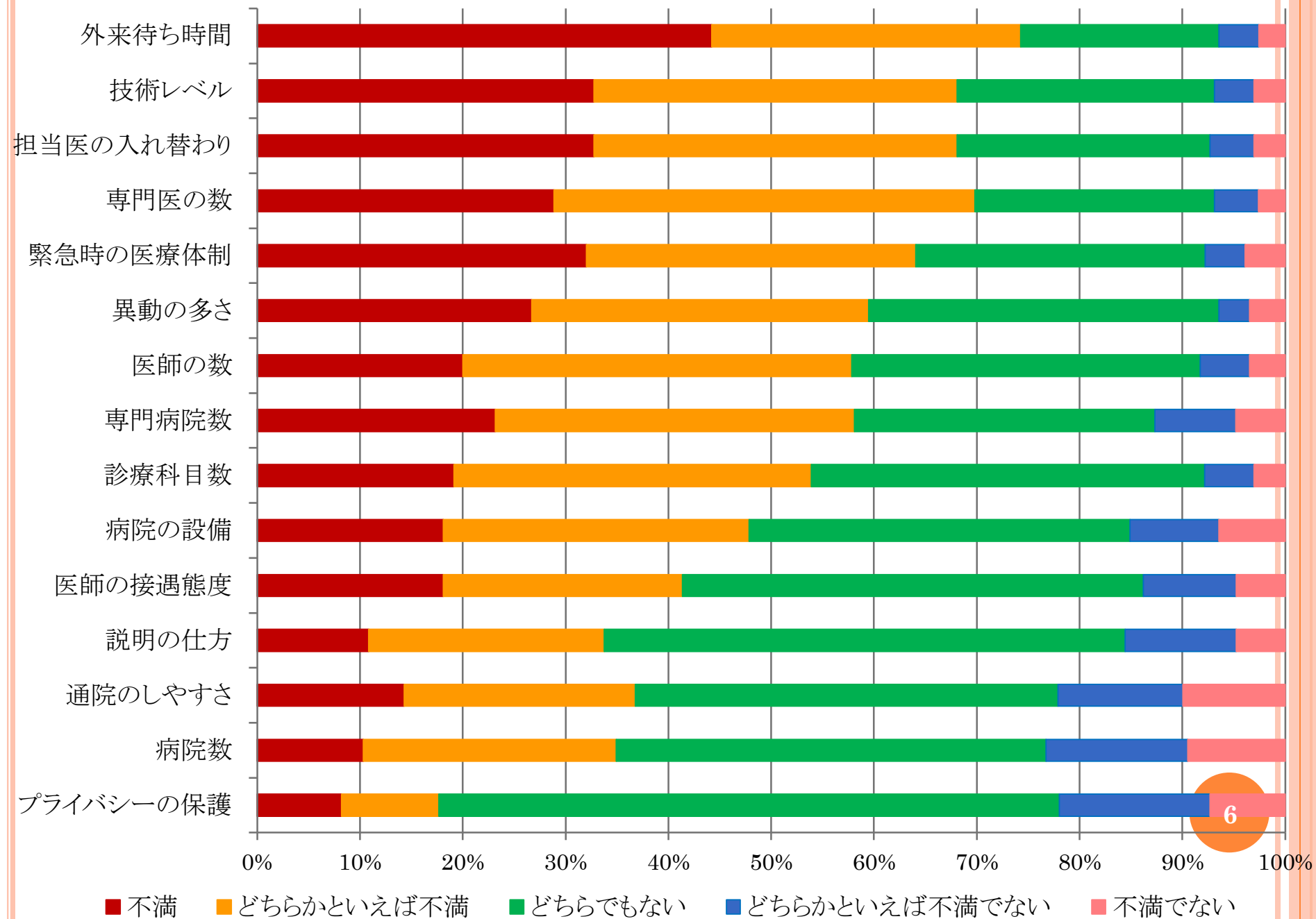
回答者の健康行動

表1 健康行動

		朝食毎日 食べる	間食する	飲酒習慣 ある	タバコ 吸わない	運動習慣 ある	睡眠 とれている	健診 毎年受ける
性別	男	55%	48%	52%	54%	28%	78%	82%
	女	78%	83%	13%	90%	9%	83%	80%

- 男性は飲酒習慣があり、タバコを吸う傾向にあります。
- 女性は朝食を毎日とり、間食が多く、運動習慣が少ないという傾向にあることがわかりました。
- また、自身の生活に対する満足度や健康観は男性よりも女性の方が高いことがわかりました。

保健・医療に対する満足度



五島の保健・医療に対する満足度

満足度が高かった項目として

プライバシーの保護
病院数
通院のしやすさ

不満が高かった項目として

外来での待ち時間
技術レベル
担当医の入れ替わり
という順になっていました。

外来での待ち時間が最も満足度が低くなっていますが、これは離島特有の問題ではなく、日本の保健医療全般に言える問題であると言えます。

交通不便さの認識

通院先が五島外の人
通院手段として船を使っている人

が、交通不便さの認識が高くなっていました。これは、五島 - 長崎間のフェリーでは、片道約4時間、交通費約6,000円かかってしまう現状が反映されていると思われます。今後は、本土との交通整備が望まれます。